

インターネットが生活に不可欠なインフラとして普及するに伴い、インターネットにつながる機器も、パソコン(PC)や携帯電話にとどまらず、テレビやハイビジョンレコーダーなどのデジタル家電にまで及び、ビジネスや生活のあらゆるシーンでサービスが受けられるようになっていきます。

ネットワークサービス事業統括部は、消費者向けに、“気になるリンク™”(注)というサービスをAVノートPC Qosmio™をとおして提供しています。地上デジタル放送を視聴中に、関連するキーワードを抽出してネット検索につなげることで、利用者が知りたい情報を欲しいときに得られます。また、ハイビジョンレコーダー“ヴァルディア(VARDIA)”の動画ダウンロード機能であるDVDBBにおいて、複数の動画配信プロバイダからの情報を、機器に最適なデータ形式に変換する中継システムを開発しました。このように、デジタル機器とインターネットサービスの組合せによって、機器単体ではできなかった応用が可能となっています。

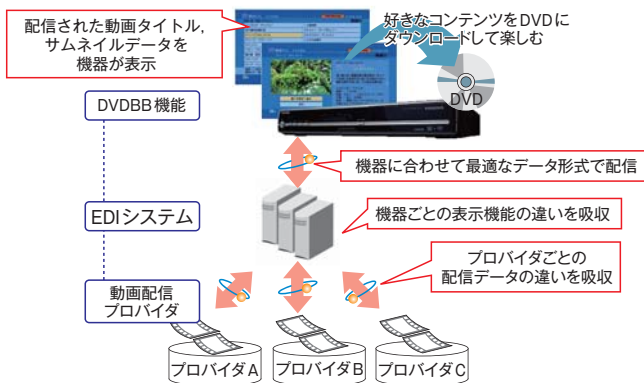
一方、企業向けには、携帯電話で基幹システムにアクセスできるゲートウェイ技術を開発しました。複数キャリアへの適応技術とCMS(Contents Management System)を組み合わせることで、企業内基幹システムと連携する携帯サイトを、安全かつ容易に構築できます。どの技術もSaaS(Software as a Service)の形態で提供しています。

今後もインターネットを活用するイノベーションにより、東芝ならではの先進的なインターネットサービスを開発していきます。

(注) ハイライト編のp.10に関連記事掲載。

経営変革統括責任者 村永 哲郎

● ヴァルディアのDVDBB機能向けEDIシステム



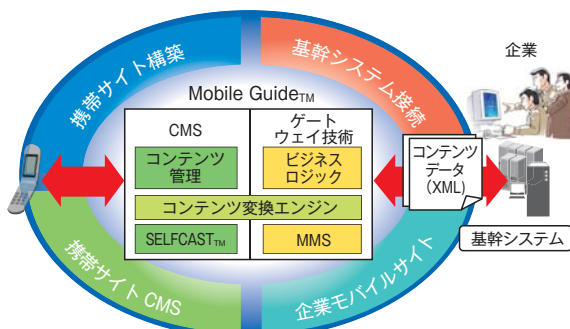
EDIシステムの概要
Overview of electronic data interchange (EDI) system for DVDBB feature of VARDIA, personal video recorder

ハイビジョンレコーダー“ヴァルディア”の動画ダウンロード機能であるDVDBBにおいて、動画配信プロバイダのコンテンツ情報を、インターネットを介してレコーダーに中継するEDI(Electronic Data Interchange)システムを開発した。

EDIシステムは、プロバイダごとに細かく異なる配信データ構造及び、レコーダーの形式によって異なる表示機能の差異を吸収し、タイトル情報やサムネイル画像を様々なレコーダーに最適なデータ形式に自動的に変換して中継できる。

これにより利用者は、複数の動画配信プロバイダが提供する動画コンテンツをシームレスに、同じ操作で視聴できる利便性を享受できる。

● 携帯サイト向け 企業内システム連携プラットフォーム



MMS: Mobile Multi-Protocol Service
XML: Extensible Markup Language

MOBILE GUIDE™の概要
Conceptual diagram of RealLinkage™ gateway technique

企業内基幹システムと携帯サイトを連携させるプラットフォームとして、当社の携帯サイトソリューションMOBILE GUIDE™向けにゲートウェイ技術を開発した。独自開発の携帯サイト構築フレームワークとCMS製品のSELFCAST™を組み合わせることで、BtoC(Business to Consumer)市場や企業携帯サイトを安全かつ容易に構築することができる。

この技術の特長は、業務処理の流れを制御するビジネスロジックのテンプレート化、顧客固有の仕様のプラグイン化、及びそれらをSELFCAST™で透過的に扱えることで、サイト構築が短期間にできる。現在、サイト運用で信頼性が求められる電力、証券、生保などの企業に導入されている。

今後はこの技術の中核に、携帯Flashの導入など、リッチコンテンツ化を進めていく。